

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
東京湾カップ	2019/5/8	SIII	船橋	1700m	ハイペース	良	馬場、展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ダバイダバイ	牝3	54	山本紀	リーチザクラウン	サンデー系	ワカオライデン	ナスルーラ系	C	D	C	B	C	C		
2	2	イグナシオドーロ	牡3	57	的場文	ヴィットリオドーロ	ノーザン系	スマートボーイ	ノーザン系	A	C	B	C	B	C		
3	3	ジョリスヴェニール	牡3	55	御神本	ゴールドアリュール	サンデー系	End Sweep	ミスプロ系	C	B	B	C	B	B	△3	
4	4	ミスタージョイ	牡3	55	小杉	スマートファルコン	サンデー系	プリサイスエンド	ミスプロ系	C	C	B	B	B	B	△2	
	5	ゲームスター	牡3	55	櫻井	リーチザクラウン	サンデー系	トモエアレックス	リボ系	D	D	C	B	C	C		
5	6	エレガントヴァイゼ	牡3	55	矢野	メイショウボーラー	ヘイロー系	ダンスインザダーク	サンデー系	C	B	B	C	C	C		
	7	ホールドユアハンド	牡3	57	左海	エスポワールシチー	サンデー系	ゼンノメイジン	ミスプロ系	A	B	B	C	B	B	△1	
6	8	オーシャンブラック	牡3	56	柏木	ストロングリターン	ロベルト系	ジェニユイン	サンデー系	C	C	C	B	C	C		
	9	グリードバルフェ	牡3	55	笹川	トビーズコーナー	ノーザン系	メジロマックイーン	パーソロン系	B	B	B	B	B	B	○	
7	10	フォルベルス	牡3	55	町田	サウスヴィグラス	ミスプロ系	アサティス	ノーザン系	D	C	C	B	C	C		
	11	サージュ	牡3	55	真島	サクラプレジデント	サンデー系	Cure the Blues	ターントウ系	D	B	C	B	C	C		
8	12	サクセッサ	牡3	56	石崎駿	アドマイヤオーラ	サンデー系	ブラックタキード	サンデー系	B	C	B	B	B	B	▲	
	13	レオズハウライト	牡3	56	本田	バトルブラン	ミスプロ系	ネオユニヴァース	サンデー系	B	B	A	A	A	B	◎	

隊列図	見解	ラップタイム
イグナ ホール エレガ サクセ ジョリ グリー ミスタ フォル ダバイ レオズ ゲーム サージ オーシ	東京湾カップを予想する上で重要になってくるのは現在の馬場傾向だろう。5月6日（祝・月）の船橋競馬場の枠順別成績を見ると、明らかに中〜外優勢になっている。1〜3枠から勝ち馬は誕生せず、好走馬は6〜8枠に集中。単純に外に行けば行くほど分母の出走数が増えるわけだが、好走率で考えても外の方が明らかに優秀といえる（1枠の複勝率8%に対し、8枠の複勝率は39%）。かしわ記念ではゴールドドリームがインティを押さえて勝利。前々で立ち回ったドリームキラリ、早めに動いたオールブラッシュは最後まで息が持たず、1〜2コーナーではまだ後方3番手にいたアポロケンタッキーが3着に追い込んできた。月曜日のすべてのレースを見返しても直線は内より中〜外の方が伸びている。火曜日、水曜日と同様の傾向が続くのであれば、東京湾カップも先行より差し、内より外のイメージでいだろう。徹底先行型のイグナシオドーロ、ホールドユアハンドがレースを引っ張れば、ペースが緩むこともなさそうだ（的場文騎手、左海騎手ともに行く時はガンガン行くタイプなのでここはいかにも流れそう）。令和最初の南関東重賞。かしわ記念に続いてピシッと当てていきたい。それでは予想にいきましょう。	回顧
ハイペース	本命は レオズハウライト が堅実駆けと見た。デビュー以来、雲取賞を除けば、「着順はすべて3着以内」かつ「上りはすべて2位以内」をキープしている馬。（以下省略）	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ダバイダバイ		桜花賞5着、東京プリンセス賞12着と冴えず、2歳時からの成長が感じられない。今回は山本紀騎手に乗り替わり。鞍上弱体化で前進は期待できない。		
2	2	イグナシオドーロ		昨年の北海道2歳優駿ではウィンターフェル(京浜盃、羽田盃2着)を押さえて勝利。能力最上位なのは間違いないが、今回は同型・ホールドユアハンドとの兼ね合いがある上、馬場も向かないだろう。中間の調教では一杯に追われながらバタバタ。状態面にも大きく不安が残る。怖さはあるが、敬遠したい。		
3	3	ジョリスヴェニール	△3	前走TCKバーベキューガーデン賞のパフォーマンスだけでは足りない気がするが、ミスタージョイと同じくキャリア4戦でまだ上昇の余地を残している。鞍上的にも怖さがあるので押さえておきたい。		
4	4	ミスタージョイ	△2	一気の相手強化になるが、キャリア4戦、前走チューリップ特別では鞍上が後続を確認する余裕があり、パフォーマンスをまだまだ上げられるはず。追って味のあるタイプなので今の馬場にも向いている。		
	5	ゲームスター		前走ブルーバードカップではレオズハウライト、グリードパルフェの2頭に完敗。重賞では荷が重い。		
5	6	エレガントヴァイゼ		1戦毎にパフォーマンスを上げており、鞍上込みで不気味さはあるものの、前走me-byoエクスブラザ賞の走破時計1分45秒1は同開催のクラウンカップの勝ち時計より2秒も遅い。まだ余力はあり、上昇の余地はあるものの、本馬を買うならクラウンカップ組のサクセッサ、ホールドユアハンドを買いたい。		
	7	ホールドユアハンド	△1	能力最上位も、展開と馬場で割引が必要。同型・イグナシオドーロは鞍上が的確場文男騎手なら徹底先行する可能性があり、本馬は外目2番手に控えざるを得なそう。その上、レオズハウライト、グリードパルフェ、サクセッサらが早めに外から進出するとすれば、苦しい展開になるだろう。		
6	8	オーシャンブラック		2歳時から成長が感じられず、重賞では雲取賞16着、京浜盃7着、羽田盃11着と苦戦続き。重賞では力不足だろう。本質的に距離はもっと短い方が良さそう。		
	9	グリードパルフェ	○	前走ブルーバードカップではレオズハウライトに敗れたものの、2走前の花見月特別ではレオズハウライトに先着。現状、対戦成績は1戦1敗で、能力差はほぼないと見ていだろう(今回、レオズハウライトより斤量が1キロ軽いので再びの逆転があるかもしれない)。		
7	10	フォルベルス		2走前のクラウンカップでは12番人気ながら5着とそれなりに頑張ったが、上位勢とは力の差を感じさせる内容だった。重賞では荷が重い。		
	11	サージュ		大型馬ながらサクラプレジデント産駒らしい器用さがあり、船橋コースは本質的に向いているものの、オープン特別で2、3着が精いっぱい現状。重賞で上位争いするには力が足りない。		
8	12	サクセッサ	▲	これまで対ホールドユアハンドには3戦3敗と一度も先着していないが、2走前のクラウンカップではそのホールドユアハンドから0.1秒差の2着に好走。距離が100m伸びて現状の外優勢の馬場に変われれば、初めて先着しても不思議ではない。		
	13	レオズハウライト	◎	デビュー以来、雲取賞を除けば、「着順はすべて3着以内」かつ「上りはすべて2位以内」をキープしている馬。前哨戦のブルーバードカップでは3コーナーから一気に進出し、4コーナーで早くも先頭。そのまま後続の追撃を振り切る強い内容で、ここに来て一段と力をつけてきた印象がある。		